

2016年度 前期		リフレクションペーパー					
学科名	建築・デザイン学科						
科目名	基礎図形						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	1年次前期		
必修・選択の別	デザインコース:選択必修 建築工学コース・建築コース:選択科目						
担当者	松本誠一						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・立体造形を計画し、製作できる。 ・遠近法を理解し、鉛筆によるスケッチを描くことができる。 ・色彩計画を表現できる。 						
日程と内容	第1回 4/13 導入講義 授業の概要と進め方の説明 成績評価の方法 第2回 4/20 三面図の概説 1 第3回 4/27 三面図の理解・演習 2 第4回 5/9 三面図の理解・演習 3 第5回 5/11 透視図の理解・演習 1 第6回 5/18 透視図の理解・演習 2 第7回 5/25 デッサン(描図) 鉛筆で描く 1 第8回 6/1 デッサン(描図) 鉛筆で描く 2 第9回 6/8 デッサン(描図) 鉛筆で描く 3 第10回 6/15 デッサン(描図) 鉛筆で描く 4 第11回 6/22 デッサン(描図) 鉛筆で描く 5 第12回 6/29 イメージと色彩 第13回 7/6 ユニットコンポジション制作 1 第14回 7/13 ユニットコンポジション制作 2 第15回 7/20 ユニットコンポジション制作 3						
成績評価基準	定期試験 臨時試験		実技 部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション			20%	
	課題 演習		計			80% 100%	
授業到達目標の達成度	課題作品の提出は非常に多い。総数は13点。全て提出できた学生は、到達目標に達しており、デザイン力は身につけていると判断される。						
反省点	シラバスの内容を若干変更している。立体構成を実施せず、三面図に関する内容を実施した。その理由は、受講生が多く、教員1人で立体構成を指導するのが困難と判断したからである。三面図の理解は立体の理解にも結び付くので、1年生の学修内容には三面図の理解は適していると判断した。						
来年度の計画	受講生が多ければ、今年度と同様の内容を実施する。						
授業評価アンケートに対するコメント	設問14の10点法による評価は7.7。記述すべきアンケート内容のコメントはなし。						
履修登録者数	66名	定期試験 受験者数	65名	合格者数	65名	合格率	100%